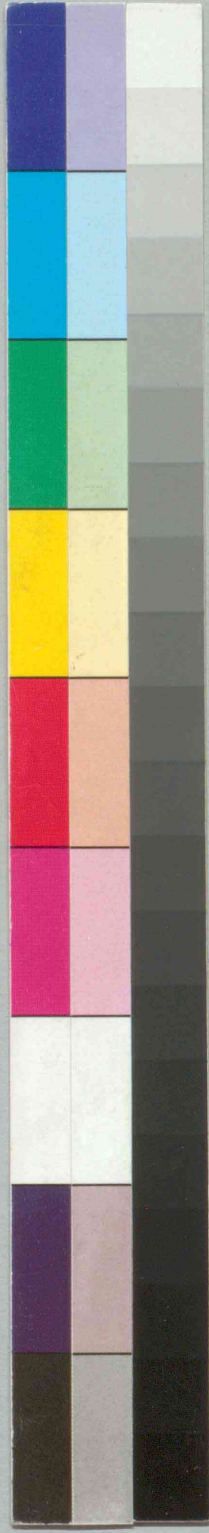


第七十四回
帝國議會
法律案審議經過調

國政研究會

昭和十四年四

中
國
文
庫



6591

注意事項

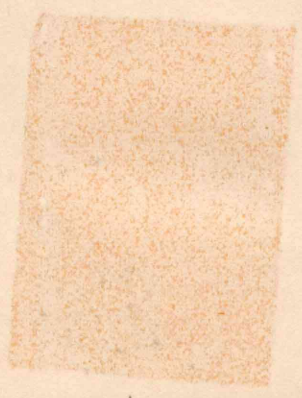
- 資料は大切に扱きましょう。
- 資料は転貸借はお断りします。
- 15日間の期限に必ず返して下さい。
- 資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話 (0272) 3008番

第七十四回
帝國議會
法律案審議經過調

十四年四月二十日現在公布八五件

件名	公布月日	衆議院	貴族院
一十四年度一般會計公債發行法律案	三、二五 法二	一、二四 議案付託 委員會 可決	二、二 議案付託 委員會 可決
二作業會計法中改正法律案	三、二五 法三	二、二五 委員會 可決	三、一〇 委員會 可決
三兌換銀行券整理法中改正法律案	三、二五 法九	二、二五 委員會 可決	三、一〇 委員會 可決
四農業再保險特別會計法案	三、二五 法六	二、二五 委員會 可決	三、一〇 委員會 可決
五兵役法中改正法律案	三、一八 法一	二、二四 委員會 可決	二、二〇 委員會 可決
六宗教團體法案	四、七 法七七	二、二三 委員會 可決	二、二四 委員會 可決
七無償貸付國有財產、處分法律案	四、七 法七八	三、四 委員會 可決	二、二四 委員會 可決
八軍用自動車檢查法案	三、二七 法三六	二、二八 委員會 可決	二、二〇 委員會 可決
九朝鮮事業公債法中改正法律案	三、三一 法六一	二、二六 委員會 可決	二、二〇 委員會 可決
一海軍工廠員金會計法中改正法律案	三、二五 法四	二、二五 委員會 可決	三、九 委員會 可決



件名

二	人事調停法案	法一六	一三一	二二五	二二六	二二〇	三一	三四
三	名古屋帝國大學創設に伴ふ帝國大學特別會計法律案	法一五	一三一	二二二	二二二	二二五	三九	三一三
一三	昭和十二年法律第五七号中改正法律案 <small>(鐵、輸入税免、除關スル件)</small>	法七	一三一	二二八	二二二	二二五	三四	三九
一四	大平軍法律第五号中改正法律案 <small>(關東州、生産物品、輸入税免除)</small>	法八	一三一	二二八	二二二	二二五	三四	三九
一五	滿洲國ニ於ケル領事館裁判廢止法律案	法一〇	二二四	三三八	三一	一三一	二七	三一〇
一六	北海道拓殖銀行法中改正法律案	法二六	二二	三六	三七	三九	二六	三一〇
一七	借地借家臨時處理法中改正法律案	法二六	二二	三六	三七	三九	二六	三一〇
一八	明治四十五年法律第百五号中改正法律案 <small>(樺太、石炭、採掘)</small>	法一八	二二	三二	二二	二二五	三三	三三
一九	臺灣事業公債法中改正法律案	法三一	二七	三八	三九	三一〇	三七	三三
二〇	北海道土功組合法中改正法律案	法四一	二二五	三三四	三四	二六	二一八	二一八
二一	林業種苗法案	法一七	二七	二二三	二二五	三一	三一	三三
二二	朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案	法一四	二七	二二六	二二六	二二〇	三七	三九

衆議院
貴族院
議案上程
委員會
可決
本會議
可決
附帶決議
修正希望
委員會
可決
本會議
可決
修正希望
附帶決議

朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收公債發行法律案

二二	森林法中改正法律案	法一五	二七	二二三	二二五	三一	三一	三三
二五	軍馬資源保護法案	法四六	二七	三三	三四	三七	三七	三三
二六	種馬統制法案	法七五	二七	三三	三四	三七	三七	三三
二七	金貨金特別會計法中改正法律案	法二四	二二四	三二六	三七	三九	三九	三九
二八	公證人法中改正法律案	法一三	二二五	三二〇	三一	二一〇	二一六	二二三
二九	臺灣米穀移出管理特別會計法案	法三二	二二四	三二八	三九	三〇	三二	三三
三〇	短期現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案	法五一	二二四	三二七	二二八	三四	三九	三三
三一	明治三十五年法律第百九号中改正法律案 <small>(關稅調查、關稅法律)</small>	法三三	二二八	三二三	三三	二二四	二一八	二一八
三二	競馬法、臨時特例ニ關スル法律案	法三八	二二四	三三	三四	三七	三三	三三
三三	郵便年金法中改正法律案	法四七	三、四	三三四	三四	二一六	二二三	二二三
三四	花柳病豫防法中改正法律案	法四三	三七	三二四	二二四	二一六	二一八	二一八
三五	青年學校教育費國庫補助法案	法二二	二二六	三二九	二二九	三一〇	二一八	二一七

國史館

件名	公布月日	衆議院		貴族院	
		議案工程 委員付託 可決	本會議決 附帶決議	議案工程 委員付託 可決	本會議決 附帶決議
八七 昭和七年法律第四号中改正法律案 (輸入稅率) 量稅率	三、三一 法五七	三一六	三、二三	三、二三	三、二五
八六 臨時陸軍材料費金特別會計法案	三、三一 法五四	三一六	三、二〇	三、二〇	三、二五
八五 昭和十四年法律第二号中改正法律案	三、二九 法四四	三一八	三、二二	三、二三	三、二五
民族優生保護法案 (木逸郎外)		二、一四	二、一八	三、一六	修
裁判所構成法改正法律案 (野田文一外)		二、一七	二、二八	三、二	
檢察廳法案 (野田文一外)		二、一六	二、二八	三、二	
刑事訴訟法中改正法律案 (四筆併合)		三、一六	三、二三	三、二四	修

豫算案 (兩院通過)

- 一 昭和十三年度一般會計追加豫算三
- 一 特別會計追加豫算一
- 一 昭和十四年度總豫算並各特別會計豫算一
- 一 同 總豫算追加案二
- 一 同 特別會計追加案二
- 一 臨時軍事費追加案一
- 一 臨時陸軍材料費金豫算案一
- 一 豫算外國庫負擔卜ナルキ契約ヲ為スヲ要スル件四

計 十一 四

承諾ヲ求ムル議案 (兩院議決)

了 昭和十二年度豫備金支出

三

一 昭和十三年度豫備金支出

三

計

六

決算

(兩院通過)

一 昭和十二年總決算、昭和十三年度各特別會計決算

一

國有財産増減總計算書 (兩院通過)

一 昭和十二年度國有財産増減計算書

一

貴族院	議案	可決	議案	可決
衆議院	議案	可決	議案	可決

衆議院提出法律案	政府提出法律案	上奏案	議案	可決	議案	可決
四	八九		議案	可決	議案	可決
〇	八九		議案	可決	議案	可決
三二	八九	一	議案	可決	議案	可決
四	八九	一	議案	可決	議案	可決

希望條項

- 一 政府ハ時局ニ鑑ミ特ニ宗教家ノ活動ヲ促進スル爲速ニ適當ノ方策ヲ講ズベシ
- 二 政府ハ宗教教師ノ資格向上ニ付特ニ考慮ヲ拂ヒ遺憾ナキヲ期スベシ
- 三 政府ハ將來宗教團體内部ニ於ケル各種ノ選舉竝ニ宗教ノ名ノ下ニ於ケル營利ヲ目的トスル行爲ニ付嚴重ナル監督ヲ爲シ其ノ肅正ニ努ムベシ

昭和十四年三月六日報告
委第九三號

報告書

一 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月六日

委員長 板谷順助

衆議院議長 小山松壽殿

委(政法ノ一二)

附帶決議

本法案ハ北海道拓殖銀行ノ特異性ヲ消失セシムルノ虞アリ依テ政府ハ本行創設ノ趣旨ニ鑑ミ
不動産金融ニ一層ノ力ヲ傾注スヘク嚴重ニ監督指導シ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

昭和十四年二月二十三日報告
委 第 四 三 號

報告書

一 森林法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年二月二十三日

委員長 小山邦太郎

衆議院議長 小山松壽殿

不備金額ニ一揮ハ代ハ前書スヘク、鑛産ニ對シテ、萬世業ヲナシテ、
本法案ハ其意旨詳解驗行ク、詳與對テ、格式ナシムル、
關帶天類

委(政法ノ一七)

附帶決議

- 一 森林ニ關スル特殊金融制度ノ確立ヲ見ルニ非サレハ本案改正ノ目的ヲ達スルコト能ハス
政府ハ速ニ之カ實現ヲ期スヘシ
- 二 政府ハ林道ノ開設普及ニ依リ奥地森林ノ經濟的利用ヲ促進シ以テ資源ノ保持開發ニ努ム
ヘシ

昭和十四年三月三日報告
委 第 八 一 號

報告書

一軍馬資源保護法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月三日

委員長 東 武

衆議院議長 小山 松 壽 殿

委(政法ノ一九)

軍馬資源保護法案中左ノ通修正ス

(小字ハ委員會修正)

第十一條 鍛鍊馬競走ノ施行者優等馬票ヲ發行シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ發行ニ依リ得タル金額ノ百分ノ二十五以内ノ金額ヲ收得スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ鍛鍊馬競走ノ施行者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ納付金ヲ軍用保護馬鍛鍊中央會ニ納付スベシ

前項ノ納付金ハ軍用保護馬鍛鍊中央會ノ目的ヲ達スル爲必要ナル經費ニ充ツルコトヲ要ス

鍛鍊馬場ノ開設又ハ維持、競走ノ觀覽、優等馬票ノ發行又ハ購買、拂戻金又ハ賞金ノ交付又ハ受領其ノ他鍛鍊馬競走ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

昭和十四年三月二十日報告
委 第一二二〇號

報告書

一支那事變特別稅法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月二十日

委員長 川崎 克

衆議院議長 小山 松 壽殿

委(政法ノ三四)

(小字及——ハ委員會修正)

支那事變特別稅法中改正法律案中左ノ通修正ス

第三十八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

物品稅ハ左ニ掲ゲル物品ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ之ヲ課ス

第一種

甲類

- 一 貴石若ハ半貴石又ハ之ヲ用ヒタル製品
- 二 眞珠又ハ眞珠ヲ用ヒタル製品
- 三 貴金屬製品又ハ金若ハ白金ヲ用ヒタル製品
- 四 鼈甲製品
- 五 珊瑚製品

六 毛皮又ハ毛皮製品

七 羽毛製品又ハ羽毛ヲ用ヒタル製品

乙類

八 時計

九 文房具

十 身邊用細貨類

十一 化粧用具

十二 喫煙用具

十三 帽子、杖、鞭及傘

十四 鞆及トランク

十五 靴及履物

十六 書畫及骨董

十七 室内裝飾用品

十八 玩具

十九 運動具

二十 照明器具

二十一 電氣器具及瓦斯器具

二十二 圍碁及將棋用具

二十三 家具

二十四 漆器、陶磁器及硝子製器具ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ

二十五 貴金屬ヲ鍍シ又ハ張りタル製品ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ

二十六 皮革製品ニシテ別號ニ掲ゲザルモノ

- 二十七 織物、メリヤス、レース、フェルト及同製品並ニ組物
二十八 果物

第二種

甲類

- 一 寫眞機、寫眞引伸機、映寫機、同部分品及附屬品
- 二 寫眞用ノ乾板、フィルム及感光紙
- 三 蓄音器及同部分品
- 四 蓄音器用レコード
- 五 樂器、同部分品及附屬品
- 六 雙眼鏡及隻眼鏡
- 七 銃及同部分品

- 八 藥莢及彈丸
 - 九 ゴルフ用具、同部分品及附屬品
 - 十 娛樂用ノモーターボート、スカール及ヨット
 - 十一 撞球用具
 - 十二 ネオン管及同變壓器
 - 十三 喫煙用ライター
 - 十四 乗用自動車
 - 十五 化粧品
- 乙類
- 十六 ラヂオ聽取機及同部分品
 - 十七 受信用眞空管、擴聲用增幅器及擴聲器

十八 扇風機及同部分品

十九 煖房用ノ電氣、瓦斯又ハ礦油ストーブ

二十 冷蔵庫及同部分品

二十一 金庫及鋼鐵製家具

二十二 化粧用石鹼、シャンプー、洗粉及齒磨

二十三 紅茶、咖啡及其ノ代用物並ニココア

二十四 嗜好飲料但シ酒類及清涼飲料ヲ除ク

第三種

一 燐寸

二 酒類但シ濁酒ヲ除ク

三 飴、葡萄糖及麥芽糖

第三十九條中「五圓」ヲ「十圓」ニ、「十圓」ヲ「十五圓」ニ、「七圓」ヲ「十四圓」ニ改メ「葡萄酒（酒精

及酒精含有飲料稅法第三條ノ二ニ規定スルモノ以下同ジ）ノ下ニ「及果實酒（酒精及酒精含有

飲料稅法第三條ノ三ニ規定スルモノ以下同ジ）」ヲ加ヘ同條第三種ニ左ノ一號ヲ加フ

三 飴、葡萄糖及麥芽糖

百斤ニ付

二圓

イ 麥芽糖化ノ方法ニ依リ製造シタル飴

百斤ニ付

一圓五十錢

ロ 其ノ他ノ飴並ニ葡萄糖及麥芽糖

百斤ニ付

二圓

第四十三條中「化粧品」ヲ「化粧品、化粧用石鹼、シャンプー、洗粉、齒磨又ハ嗜好飲料」ニ改ム

第五十二條ノ三 遊興飲食稅ノ稅率ハ遊興飲食ノ料金ノ百分ノ十トス但シ藝妓ノ招聘料ニ付

テハ料金ノ百分ノ二十トス

前項ノ遊興飲食ノ料金(以下料金ト稱ス)ハ前條ニ規定スル場所ノ經營者ガ遊興又ハ飲食ヲ爲シタル者ヨリ其ノ遊興又ハ飲食ニ付領收スベキ金額ヲ謂フ

料金ノ算定ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條ノ四 料金ガ一人一回五圓ニ滿タザル場合ニハ遊興飲食稅ヲ課セズ但シ藝妓^{ノ花代}其ノ

其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ他命令ヲ以テ定ムル者ノ招聘料ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ一人一回ノ料金ノ計算ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第七條 改正第三十八條ニ掲グル第二種又ハ第三種ノ物品ノ製造者又ハ販賣者ガ本法施行ノ際製造場又ハ保稅地域以外ノ場所ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ之ニ物品稅ヲ課ス此ノ場合

ニ於テハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ物品ヲ製造場ヨリ移出シタルモノト看做シ第一號ノ物品ニ付テハ改正第三十八條各號ニ掲グル品名毎ニ價格三千圓、酒類ニ付テハ三十石、餡、葡萄糖又ハ麥芽糖ニ付テハ一萬斤ヲ超ユル部分ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ物品稅ヲ徵收ス但シ従前ノ規定ニ依リ物品稅ヲ課セラレタル物品ニ付テハ其ノ課セラレタル稅額ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額ヲ以テ其ノ稅額トス

一 改正第三十八條ニ掲グル第二種第十四號、第十五號、第十七號(擴聲用增幅器ニ限ル)、第二十二號(シャンプー及洗粉ヲ除ク)、第二十三號又ハ第二十四號ノ物品ニシテ同條各號ニ掲グル品名毎ニ價格三千圓ヲ超ユルモノ

二 酒類ニシテ合計石數三十石ヲ超ユルモノ又ハ餡、葡萄糖若ハ麥芽糖ニシテ合計斤數一萬斤ヲ超ユルモノ

本法施行ノ際製造場内ニ現存スル酒類ニシテ戻入又ハ移入シタルモノニ付テハ第四十六條

第二項ノ改正規定ニ拘ラズ物品税ヲ徴收ス

第一項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第一項ノ製造者又ハ販賣者ハ第二種ノ物品ニ付テハ其ノ品名毎ニ數量、價格及貯藏ノ場所、

第三種ノ物品ニ付テハ其ノ品名毎ニ數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告

スベシ

昭和十四年三月二十日報告
委 第二二二一號

委(政法ノ三五)

報告書

一臨時利得税法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月二十日

委員長 川崎 克

衆議院議長 小山松 壽殿

(小字及——ハ委員會修正)

臨時利得稅法中改正法律案中左ノ通修正ス

第十一條ノ二 讓渡利得ハ前年中ニ於ケル船舶又ハ鑛業若ハ砂鑛業ニ關スル權利若ハ設備ノ讓渡ニ因ル總收入金額ヨリ取得價額、設備費、改良費及讓渡ニ關スル必要ノ經費ヲ控除シタル金額ニ依ル

船舶又ハ鑛業若ハ砂鑛業ニ關スル權利若ハ設備ニシテ昭和十一年十二月三十一日以前ニ取得シタルモノニ付テハ同日ニ於ケル價額ヲ以テ前項ノ取得價額トシ同日後ニ爲シタル設備又ハ改良ニ要シタル費用ノミヲ以テ前項ノ設備費又ハ改良費トス

前二項ノ計算ニ關シテハ相續、贈與又ハ遺贈ニ因リ取得シタルモノハ相續人、受贈者又ハ受遺者が引續キ之ヲ有シタルモノト看做シ讓渡後相續ノ開始アリタル場合ニ於テハ被相續人ノ爲シタル讓渡ハ之ヲ相續人ノ爲シタル讓渡ト看做ス

前三項ニ定ムルモノノ外讓渡利得ノ計算ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條ノ二 船舶ノ讓渡ニ因ル利益ニシテ第九條ノ個人ノ利益ニ屬スルモノ及昭和十四年

四月一日以後ニ於テ設定セラレタル鑛業又ハ砂鑛業ニ關スル權利ニシテ命令ノ定ムルモノ

ノ讓渡ニ付テハ本法中讓渡利得ニ關スル規定ヲ適用セズ

第十六條中「納稅義務」ノ上ニ「甲種利得又ハ乙種利得ニ付」ヲ加ヘ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

讓渡利得ニ付納稅義務アル個人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ利得金額ヲ政府ニ申告スベシ

第十七條中「個人ノ利得金額」ヲ「個人ノ甲種利得又ハ乙種利得ノ金額」ニ、「個人ノ利得ニ付」ヲ「個人ノ甲種利得又ハ乙種利得ニ

付」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

讓渡利得金額ハ前條第二項ノ申告ニ依リ、申告ナキトキ又ハ申告ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ノ調査ニ依リ政府ニ於テ之ヲ決

定ス

第十八條中「個人ノ利得」ヲ「個人ノ甲種利得又ハ乙種利得」ニ改ム

第二十六條第二項中「個人ノ利得」ヲ「個人ノ甲種利得又ハ乙種利得」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

讓渡利得ニ付テハ船舶又ハ鑛業若ハ砂鑛業ニ關スル權利若ハ設備ノ讓渡ノ際臨時利得稅ヲ徵收ス

第二十七條第二項中「個人ノ利得」ヲ「個人ノ甲種利得又ハ乙種利得」ニ改ム

附則第二項ヲ左ノ如ク改ム

本法ニ依ル臨時利得稅ノ賦課ハ法人ニ付テハ支那事變終了ノ年ノ翌年十二月三十一日迄ニ終了スル事業年度分限り、個人ノ甲種

利得又ハ乙種利得ニ付テハ支那事變終了ノ年ノ翌年分限り、讓渡利得ニ付テハ支那事變終了ノ年ノ翌年十二月三十一日迄ノ讓渡

ニ因ル利得ニ對スル分限リトス

附 則

本法ハ昭和十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

法人ノ臨時利得稅ニ付テハ昭和十四年一月一日以後ニ終了スル事業年度分ヨリ、個人ノ臨時

利得稅ニ付テハ昭和十四年分ヨリ本法ヲ適用ス

讓渡利得ニ對スル臨時利得税ニ付テハ昭和十四年一月一日以後ノ讓渡ニ因ル利得ニ對シ本法ヲ適用ス昭和十四年ニ限り臨時利得税法第十六條ノ規定ニ拘ラズ利得金額ノ申告期限ヲ昭和十四年四月十五日トス

四

昭和十四年三月十八日報告
委第一六七號

報告書

一米穀配給統制法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長 添田敬一郎

委(政法ノ五五)

衆議院議長 小山松壽殿

(小字及——ハ委員會修正)

米穀配給統制法案中左ノ通修正ス

第四條 政府ハ^{。特ニ必要アル場合}米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者ニ對シ^{。勅令ノ定ムル所ニ依リ}米穀ノ配給統制

^{ニ關スル}上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

政府必要ト認ムルトキハ何時ニテモ第一條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ命ジ又ハ其ノ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得

第二十七條 理事長及副理事長ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ政府ノ認可ヲ受クルモノトシ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス

日本米穀株式會社ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五箇年間日本米穀株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條 日本米穀株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一 米穀市場ノ開設

二 政府ノ委託ニ依ル米穀ノ買入又ハ賣渡

三 前二號ノ事業ニ附帶スル事業

四 其ノ他本會社ノ目的達成上必要ナル事業

日本米穀株式會社ハ前項ノ事業ノ外命令ノ定ムル所ニ依リ米穀市場ノ開設ニ附帶シ麥、大豆其ノ他ノ雜穀又ハ肥料ヲ賣買取引スル市場ヲ開設スルコトヲ得

前項ノ麥、大豆其ノ他ノ雜穀又ハ肥料ヲ賣買取引スル市場ニ於テハ其ノ賣買取引ニ付差金ノ授受ニ依リ決濟ヲ爲スコトヲ得ズ

日本米穀株式會社^前第一項第三號^又若ハ第四號又ハ第二項ノ事業ヲ營マントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

日本米穀株式會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シ又ハ休止スルコトヲ得ズ

第五十條 日本米穀株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ理事長又ハ理事長ノ職務ヲ行ヒ

若ハ代理スル副理事長ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス副理事長又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副理事長又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 第二十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ

三 第三十五條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

日本米穀株式會社ノ理事長、副理事長又ハ理事第二十八條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第五十九條

昭和十四年四月一日現ニ第一條
第一條ノ規定施行ノ際現ニ同條ノ許可ヲ受クベキ米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ

代理若ハ媒介ノ業務ヲ行フ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ同條ノ規定施行ノ日ヨリ之ヲ同條ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

昭和十四年三月十六日報告
委 第 一 六 二 號

委(政法ノ五六)

報告書

一 國際電氣通信株式會社法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十六日

委員長 植原悦二郎

衆議院議長 小山松壽殿

國際電氣通信株式會社法中改正法律案中左ノ通修正ス

第十三條ノ二 國際電氣通信株式會社ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ退職後五年間ハ政府
ノ認可ヲ受クルニ非サレハ國際電氣通信株式會社ノ取締役及監査役ト爲ルコトヲ得ス

昭和十四年三月十七日報告
委第一六六號

報告書

一 映畫法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十七日

委員長 星島二郎

衆議院議長 小山松壽殿

委(政法ノ六〇)

附帶決議

一 政府ハ映畫ノ教育、宣傳、娛樂、報道、産業等ニ及ボス重要性ニ鑑ミ速ニ積極的映畫國策ヲ樹立スベシ

二 政府ハ速ニ映畫ニ關スル行政機構ヲ統合刷新シテ其ノ強化ヲ圖ルト共ニ國立映畫研究機關ヲ設置スベシ

三 政府ハ輸出入映畫ニ付關係各省ノ間ニ緊密ナル聯絡ヲ圖リ適切ナル一元的檢閲ヲ爲スベシ

四 政府ハ映畫ノ輸出獎勵ノ方策ヲ講ズルト共ニ輸入映畫ニ付關係各省ニ於テ統一アル方策ヲ講ズベシ

五 政府ハ本法ノ施行ニ當リ登録ニ關シ遺憾ナキヲ期シ十四歳未滿ノ者ノ觀覽制限ニ付テハ社會ノ實情ニ反セザルヤウ適當ニ善處スベシ

六 政府ハ映畫ノ上映禁止其ノ他ニ關シ訴願再檢閱等映畫委員會ノ議ヲ經テ適當ナル方法ヲ
考慮スベシ

二

昭和十四年三月二十日報告
委 第二一八號

委(政法ノ六五)

報告書

一大日本航空株式會社法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月二十日

委員長 植原悅二郎

衆議院議長 小山松壽殿

(小字ハ委員會修正)

大日本航空株式會社法案中左ノ通修正ス

第十條 總裁及副總裁ハ勅裁ヲ經テ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選舉シ政府其ノ中ヨリ之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス

大日本航空株式會社ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ退職後五年間ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ大日本航空株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ

昭和十四年三月十八日報告
委第一六九號

報告書

一 船舶建造融資補給及損失補償法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長 野田文一郎

衆議院議長 小山松壽殿

委(政法ノ六四)

附帶決議

一 内外ノ情勢ニ鑑ミ本邦海運伸展ノ根本方策ヲ講スルコトハ現下喫緊ノ要務ナリト認ム
依テ政府ハ内地外地ノ海事行政ヲ統一シテ滿支トノ連絡ヲ密接ニシ以テ一元的海運國策ヲ
樹立スル爲速ニ適當ノ措置ヲ採ルヘシ

昭和十四年三月十六日報告
委第一六四號

報告書

一帝國鑛業開發株式會社法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十六日

委員長 八角三郎

衆議院議長 小山松壽殿

委(政法ノ六八)

(小字ハ委員會修正)

帝國鑛業開發株式會社法案中左ノ通修正ス

第九條 社長及副社長ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス

理事ハ株主中ヨリ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選舉シ政府其ノ中ヨリ之ヲ命ジ其ノ任期ヲ三年トス

監事ハ株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

鑛業ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五年間帝國鑛業開發株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣

ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

昭和十四年三月十八日報告
委 第一七一號

報告書

一 造船事業法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長 野田文一郎

衆議院議長 小山松壽殿

委(政法ノ八一)

附帶決議

一 内外ノ情勢ニ鑑ミ本邦海運伸展ノ根本方策ヲ講スルコトハ現下喫緊ノ要務ナリト認ム
依テ政府ハ内地外地ノ海事行政ヲ統一シテ滿支トノ連絡ヲ密接ニシ以テ一元的海運國策ヲ
樹立スル爲速ニ適當ノ措置ヲ採ルヘシ

昭和十四年三月十八日報告
委第一七〇號

報告書

一海運組合法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長 野田文一郎

衆議院議長 小山松壽殿

委(政法ノ八〇)

附帶決議

一 内外ノ情勢ニ鑑ミ本邦海運伸展ノ根本方策ヲ講スルコトハ現下喫緊ノ要務ナリト認ム
依テ政府ハ内地外地ノ海事行政ヲ統一シテ滿支トノ連絡ヲ密接ニシ以テ一元的海運國策ヲ
樹立スル爲速ニ適當ノ措置ヲ採ルヘシ

昭和十四年三月二十三日報告
委 第 二 九 〇 號

報告書

一 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月二十三日

委員長 岡崎久次郎

衆議院議長 小山松壽殿

委(政法ノ八五)

關稅定率法中改正法律案中左ノ通修正ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(小字及——ハ委員會修正)

附帶決議

政府ハ滿洲國ヨリノヒマシ油原料輸入ニ付從來ノ數量確保ノ爲適當ナル處置ヲ講ズベシ

昭和十四年三月二十三日報告
委 第 二 三 〇 號

報告書

- 一 刑事訴訟法中改正法律案(俵孫一君外十七名提出)
 - 一 刑事訴訟法中改正法律案(堀切善兵衛君外二十四名提出)
 - 一 刑事訴訟法中改正法律案(石坂繁君外一名提出)
 - 一 刑事訴訟法中改正法律案(中村高一君外一名提出)
- 右ハ本院ニ於テ四案ヲ併合シテ一案ト爲シ別紙ノ通(内容同一)修正スヘキモノト議決致候此
段及報告候也

昭和十四年三月二十三日

委員長 牧野賤男

衆議院議長 小山松壽殿

委(衆法)
ノ
三三二二
三三〇九
三一〇九

刑事訴訟法中左ノ通改正ス

第二百五十二條ノ二 行政執行法ニ依リ檢束中ノ者ニ對シテハ搜查ヲ爲スコトヲ得ス

昭和十四年二月十八日報告
委 第 一 七 號

報告書

一 民族優生保護法案（八木逸郎君外一名提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年二月十八日

委員長 斯波貞吉

衆議院議長 小山松壽殿

委（衆法）ノ一

民族優生保護法案中左ノ通修正ス

第十四條 ○故ナク 前條ノ義務ニ違反シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

(小字ハ委員會修正)

昭和十四年二月十六日配付

(政第二號)

宗教團體法案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和十四年二月十六日

委員長 伯爵 柳原義光

貴族院議長 伯爵 松平賴壽殿

(特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミヲ印刷シ
其ノ他ハ之ヲ略ス小字及——ハ修正ナリ)

第四條 教派及宗派ニハ管長ヲ、教團ニハ教團統理者ヲ置クベシ

管長又ハ教團統理者ハ教派、宗派又ハ教團ヲ統理シ之ヲ代表ス

管長又ハ教團統理者缺ケタルトキ。○、未成年ナルトキ又ハ久シキニ互リ職務ヲ行フコト能ハザルトキハ代務者ヲ置キ其ノ職務ヲ行ハシムベシ

管長、教團統理者又ハ其ノ代務者就任セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第五條 教派、宗派又ハ教團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ合併又ハ解散ヲ爲スコトヲ得
教派、宗派又ハ教團ハ設立認可ノ取消ニ因リテ解散ス

法人タル教派、宗派又ハ教團ハ破産ニ因リテ解散ス

前項ノ場合ニ於テ教派、宗派又ハ教團ハ清算ノ目的ノ範圍外ニ於テハ法人ニ非ザル教派、宗

派又ハ教團トシテ設立ノ認可ヲ受ケ存續スルモノト看做ス

主務大臣ハ必要アルトキハ前項ノ教派、宗派又ハ教團ニ對シ設立ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第七條 寺院ニハ住職ヲ、教會ニハ教會主管者ヲ置クベシ

住職又ハ教會主管者ハ寺院又ハ教會ヲ主管シ之ヲ代表ス

住職又ハ教會主管者缺ケタルトキ、○未成年ナルトキ又ハ久シキニ互リ職務ヲ行フコト能ハザルトキハ代務

者ヲ置キ其ノ職務ヲ行ハシムベシ

第十一條 寺院又ハ教會ハ第六條第二項第五號ノ教會ヲ除クノ外豫メ管長又ハ教團統理者ノ承認ヲ經、地方長官ノ認可ヲ受ケテ合併又ハ解散ヲ爲スコトヲ得

寺院又ハ教會左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ地方長官ハ其ノ設立ノ認可ヲ取消スコトヲ得

- 一 堂宇又ハ會堂ノ滅失後五年内ニ其ノ施設ヲ爲サザルトキ
- 二 住職又ハ教會主管者及其ノ代務者ヲ缺クコト三年以上ニ及ブトキ

寺院又ハ教會ハ設立認可ノ取消ニ因リテ解散ス

寺院又ハ法人タル教會ハ破産ニ因リテ解散ス

第十六條 宗教團體又ハ教師ノ行フ宗教ノ教義ノ宣布若ハ儀式ノ執行又ハ宗教上ノ行事ガ安寧秩序ヲ妨ゲ又ハ臣民タルノ義務ニ背クトキハ主務大臣ハ之ヲ制限シ若ハ禁止シ、二年内ノ期間ヲ限り教師ノ業務ヲ停止シ又ハ宗教團體ノ設立ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第十七條 宗教團體又ハ其ノ機關ノ職ニ在ル者法令又ハ教規、宗制、教團規則、寺院規則若ハ教會規則ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ之ヲ取消シ、停止シ若ハ禁止シ又ハ機關ノ職ニ在ル者ノ改任ヲ命ズルコトヲ得

教師法令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ一年内ノ期間ヲ限り其ノ業務ヲ停止スルコトヲ得

第二十條 第五條第五項、第十一條第二項、第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依ル處分ニ對シ不

服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得

第五條第五項、第十一條第二項又ハ第十六條ニ規定スル設立認可ノ取消處分ヲ違法ニシテ之ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ訴願ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十六條 教師又ハ布教者第十六條(前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル制限、

禁止又ハ業務ノ停止。若ハ又ハ第十七條第二項(前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル業務ノ停止

ニ處ス

宗教團體又ハ宗教結社ニ對シ第十六條(前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止アリタル場合ニ於テ當該宗教團體又ハ宗教結社ノ代表者其ノ他ノ機關ノ職ニ在ル者、教師又ハ布教者制限又ハ禁止アリタルコトヲ知リテ其ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同ジ

昭和十四年二月二十二日配付

(政第三號)

寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和十四年二月二十二日

委員長 伯爵 柳原義光

貴族院議長 伯爵 松平賴壽殿

(特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミヲ印刷シ
其ノ他ハ之ヲ略ス小字及一ハ修正ナリ)

第四條 前條ノ規定ニ依ル賣拂代金ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ^十五年内ノ年賦延納ヲ認ム
ルコトヲ得但シ國債ヲ以テ擔保ヲ供シタルトキハ十年内ノ年賦延納ヲ認ムルコトヲ妨ゲ
ズ

昭和十四年三月一日配付

(政第二十一號)

非訟事件手續法中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和十四年三月一日

委員長 伯爵 二荒芳徳

貴族院議長 伯爵 松平頼壽殿

(特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミヲ印刷シ
其ノ他ハ之ヲ略ス小字及——ハ修正ナリ)

第三百三十八條ノ十五 第三百三十五條ノ二十六乃至第三百三十五條ノ三十七、第三百三十五條ノ三十八第二項、第三百三十五條ノ三十九乃至第三百三十五條ノ四十一、第三百三十五條ノ四十三乃至第三百三十五條ノ四十六、第三百三十五條ノ四十八乃至第三百三十五條ノ五十二、第三百三十五條ノ五十五乃至第三百三十五條ノ五十七、第三百三十五條ノ五十八、第三百三十五條ノ六十及ヒ第三百三十五條ノ六十一ノ規定ハ特別清算ニ關スル事件ニ之ヲ準用ス

第二百一一條ノ二中「第九十五條ノ二」ヲ[○]第九十八條ノ二、第九十八條ノ三及ヒ[○]第九十五條ノ四ニ改メ同條ヲ第二百一一條ノ三トス

船舶建造修補給及損失補償法案
海運組合法案
造船事業法案

貴院議長 敬啟

帝國海運

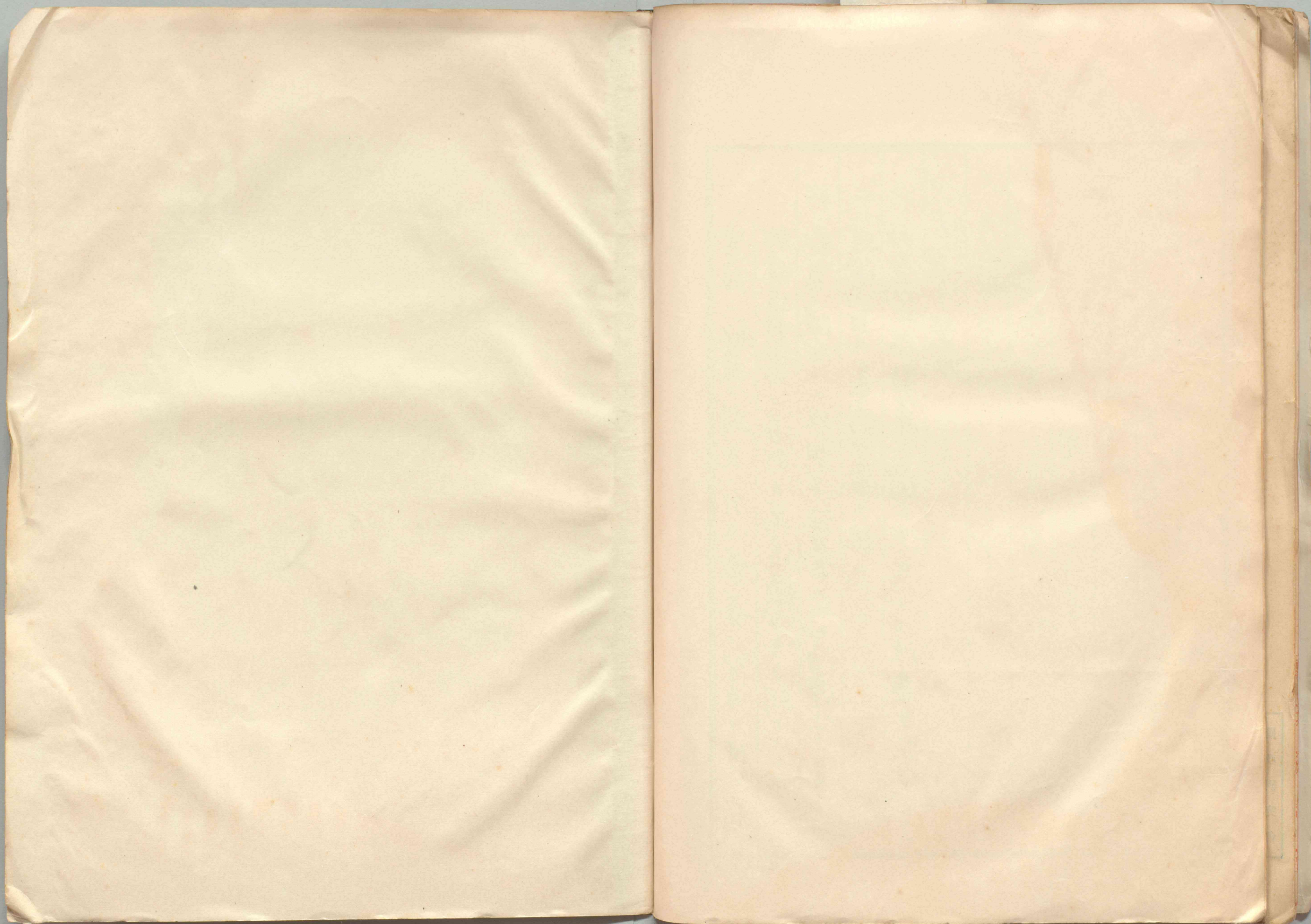
今回政府提出海運關係諸法案ハ内外情勢ニ
鑑ミ帝國海運ノ健全ナル發達ヲ圖ルカ為メ喫緊ノ
要務ナリト認ムルモ之レガ實現ニ當リテ政府ハ左ノ諸
項ニ關シ特別ノ考慮ヲ拂フト共ニ日、滿、支間ニ於
ケル海運ノ調整ニ努メラレムコトヲ望ム

一 内外地海運行政ノ統一ハ多年ノ懸案ニシテ之レガ
解決ヲ為スニ非カレハ本法案實施ニ際シテモ其效
果ノ完壁ヲ期シ難シ政府ハ海運行政ノ特性ニ鑑ミ
速ニ之レガ統一ヲ圖ラレタシ

二 政府ハ優良船舶ノ廉價ナル供給ト建造形ノ圓滿ナル
運航ヲ可能ナラレタル為メ資材ノ配給造形設備ノ充

Handwritten text in cursive style, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to fading and the angle of the page.

實況ニ形負ノ補充ニ付キ最善ノ努力ヲ拂ヒ新
形建造計畫ノ遂行ニ萬遺憾ナキヲ期セラレタレ
三 形負健全ナル思想ヲ涵養スルハ海運事業ノ
運営ニ付キ最モ緊要ト認ム
政府ハ之レガ対策ニ関シ深甚ナル注意ヲ怠ラザラ
ムコトヲ望ム



群馬県立図書館



0706591-5